

新闻话语

《“消失的高龄者”和 “LCC（廉价航空公司）”》

1. 消失的高龄者

跟归国者接触，有时候会让我们觉得内心非常温暖。在各个季节变换的时节里，孩子们以及孙子女们，都会聚集到第一代归国者的家中来，享受天伦之乐。我们感觉中国重视家人之间“相互帮助”及“孝敬父母”的传统思维方式，至今依然作为一条纽带，连接着众多归国者家庭。而一般日本家庭的情形怎样呢？



今年夏天，在东京都内一位老爷爷的寝室里，发现了一具干尸。如果活着的话，这位老爷爷应该是 111 岁。让人无比吃惊的是，这位老爷爷跟他的长女和孙子同居。事后，老人的长女因涉嫌为骗取年金，而伪装自己的父亲还活着这一诈骗行为而被问罪。这一事件被曝光以后，日本接二连三地发生了 100 多岁的高龄者去向不明的新闻。“消失的高龄者问题”，因此浮出水面。现在，据说日本一百岁以上的高龄者有四万余人，其中去向不明的将近 300 人（截至 9 月）。

消失的高龄者分为两种类型，一种是前面所说的诈骗事件，即子女为了骗取年金而隐瞒父母之死的事例。在日本，如果有人去世的话，其家人必须在七天以内带上医生的死亡诊断书，向政府机关提交死亡报告。而政府机关在接到死亡报告后，便将死者在※① 户口※② 住民票上的姓名删除。要是不提交死亡报告的话，那么，死者就会永远活在书面材料上。特

ニュースのことば 「消えた高齢者」と 「LCC(格安航空会社)」

1. 消えた高齢者

帰国者と接していく、微笑ましく思うことがある。季節の折々に子どもや孫が 1 世の家に集まって家族の団欒を楽しんでいることだ。家族間の「助け合い」や「親孝行」を重視する中国の伝統的な考え方方が、いま多くの帰国者家族を結びつけているように見える。一方、一般的な日本の家族はどうなのだろうか。

この夏、東京都内で、生きていれば 111 歳になるおじいさんが、自宅の寝室でミイラとなって発見された。長女や孫と同居していただけに人々の驚きは大きかった。後日長女は、父親が生きているように装い、年金を騙し取ったとして詐欺罪に問われた。この事件の後、あちこちで百歳以上の高齢者の所在不明を伝えるニュースが相次いだ。「消えた高齢者問題」はこうして表面化した。現在、日本には百歳以上の高齢者が 4 万人以上いると言われるが、このうち、所在不明者は 300 人近く（9 月現在）に上るという。

消えた高齢者問題は 2 つのタイプに分けられる。一つは冒頭の詐欺事件のように、子どもが親の死を隠して年金を受け取っているケースだ。日本では誰かが亡くなったら、遺族は 7 日以内に医者の死亡診断書を添えて、役所に死亡届を出さなければならぬ。役所は届出を受けて初めて※① 戸籍や※② 住民票から亡くなった万の氏名を消す。届出がなければ書類上いつまでも生き続ってしまう。特に住民票について、年金の支給などが住民票の記載に基づいて行われるため、影響は深刻だ。今回の事件を受けて、役所が自ら高齢者の生死を確認する作業が必要だという

别是住民票，支给年金等时，都是根据住民票上的记录来办理的，所以其影响也很大。发生此次事件以后，人们要求政府机关调查高龄者生死情况的呼声高了起来。今后，如果将调查对象扩大到百岁以内高龄者圈内的话，事件的发生率或许还会更高。事实上，违法骗取年金的事件，在年金制度比较完善的国家，似乎并不算罕见。据说，欧美国家在这方面有着防范类似罪行发生的严格的刑法规定。

高龄者消失的另外一种类型，可以考虑为高龄者自己离家而去向不明。由于罹患“认知症”，老人离家以后便没有再回来；或是离家后变成流浪者等事例。离家的人有着各种各样的缘由，问题在于留在其家中的亲人。此次发现的事例中，有不少是老人离家已经过了二十年、三十年而不闻不问、置之不理的。相信不少人看到其子女回答媒体，“不知道老人现在在干什么？”、“已经好几年没有见面了”等时，一定会感到不寒而栗吧。说是子女，其自身也已经属于高龄者了。

为什么会发生这样的事情呢？媒体大肆报道的是家庭的破裂和地区社会的崩溃。日本也曾有过被称为经济高度成长期（1955～1973）的时代，那时，居住在地方的年轻人为了找工作和享受优裕的生活，而搬到大都市里来。其结果，以往的三世同堂不断减少，留在地方上的双亲，和在大都市里生活的孩子的家庭，天各一方，“核家庭化”也因此不断发展。这一现象，似乎跟现在的中国刚好重合。正如“日久不见情谊薄（就算是感情再好的人，要是长时间不见，其情谊也会变薄的意思）”，家庭之间的纽带渐渐地松弛了。

另一方面，移居到大城市的人，也有的无法构筑新的人事关系。在大城市里，从地方上聚集来的人，似乎有着“不知道隔壁的人是干

声が高まっている。今後百歳未満まで調査対象が広がれば、事件はもっと拡大するかもしれない。実は、違法に年金を受け取る事件は、年金制度の整った国では珍しいことではないらしい。欧米では厳しい刑罰を設けて犯罪を防止しているそうだ。

消えた高齢者のもう一つのタイプは、高齢者自身の事情で家を出てしまったケースだ。「認知症」が原因で外出したまま帰れなくなったり、家出してホームレスになったりした例などが考えられる。人の事情はさまざまだが、問題は残された家族の側にある。今回発覚したケースでは、親が家出した後 20 年、30 年放置したままのケースが少くないという。「今どうしているのか知らない」「もう何年も会っていない」と答える子どもの姿に、寒々しい思いをした人は少なくないだろう。子どもと言ってもすでに自身が高齢者だ。

一体どうしてこのようなことになってしまったのだろう。マスコミは家族の崩壊、地域社会の崩壊と大きく報じた。日本にもかつて高度経済成長期（1955～1973）と呼ばれた時代があった。その頃から地方の若者が仕事や豊かな暮らしを求めて都会に移り住んでいった。その結果、昔のような三世代同居が減少し、地方に残る両親の家庭、都会に暮らす子どもの家庭というようにそれぞれ別居する「核家庭化」が進んでいく。今の中国の姿とも重なるかもしれない。「去る者は日日に疎し（親しかった人同士でも遠ざかると次第に情が薄れていくという意味）」のように、段々家族の間の結びつきが弱くなっていた。

一方、移り住んだ都会で新しい人間関係をうまく築けない人たちもいる。都会では地方から集まってきた人々が、「隣は何をする人ぞ」というように、互いに干渉し

什么的”，即生活上互不干涉的倾向。“消失的高龄者问题”，让我们深深地感觉到家庭纽带以及地区之间的相互关系，比我们想象的要淡薄得多。

有的归国者第一代说，“在日本住的时间长了，孩子们自然会慢慢地融入到日本社会中去。”但是，至少连接归国者家庭的那一条强硬的纽带，那一个个团结的“家庭”，不要消失。相信这样想、这样希望的，不是我一个人。

※ [小知识]

- ① 戸口：为日本国民制作的、以每个家庭为单位、记载着户主姓氏、谁、于何时出生、与谁结婚、何时死亡等各种事项的材料。
- ② 住民票：以个人为单位，记载着现在住在哪儿、和谁一起住等事项的材料。

2. LCC（廉价航空公司）

最近常常被人们提及的低成本航运(简称 LCC)公司，或许将改变今后我们的旅行生活。

亚洲各国的 LCC 以低价格为武器，向世界各地扩展着其势力，并且相继登陆日本。中国第一家廉价航空公司春秋航空，就是其一。今年 7 月，首度降落在茨城机场的春秋航空公司，其公司开设的网页在 8 月 30 日出现了空前的点击率。这是因为此公司面向日本游客，通过网络出售



“茨城—上海”航班，部分座位每张单程票价仅为 4000 日元的机票。据说开卖不到 20 分钟，机票便售光了。迄今为止，说到廉价机票，基本上都是以各大航空公司打折的正规票或旅行代理店出售的国际机票为主流，而 LCC 价位虽然根据线路、座位及时间的不同而大不相

ないで暮らす傾向があるからだ。「消えた高齢者問題」は家族のつながり、地域のつながりが想像以上に薄れていたことを私達に思い知らせた。

「日本に長く住めば、子どもたちは段々日本社会に染まっていくはず。」とつぶやく 1 世がいる。だが、せめて帰国者家族の間では、強い絆で結ばれた「家族」の姿を見失はないでほしいと願うのは、私だけだろうか。

※ [豆知識]

- ① 戸籍：日本国民について作成されるもので、家族毎にまとめられ、家長は誰で、いつ誰が出生し、誰と結婚し、いつ亡くなったか等がわかるもの。
- ② 住民票：個人毎にまとめられ、現在どこに、誰といっしょに住んでいるかがわかるもの

2. LCC（格安航空会社）

最近話題のロー・コスト・キャリア（略して LCC）と呼ばれる格安航空会社が、私たちのこれから旅を大きく変えるかもしれない。
アジア各国の LCC が低価格を武器に世界中で勢力を伸ばしていて、日本にも相次いで上陸している。中国初の LCC である春秋航空もその一つだ。今年 7 月に茨城空港に乗り入れた春秋航空だが、8 月 30 日同社のホームページにアクセスが殺到した。日本客向けに「茨城—上海」便の一部座席を片道 4000 円でインターネット販売したためだ。販売開始から 20 分足らずで完売したという。

これまで割引チケットといえば、大手航空会社の正規割引券や旅行代理店が売り出す海外航空券が主流だった。一方 LCC は、路線や座席、時期によって大きく異なるものの、「大手より 2~7 割安い」といわ

同，但据说还是“比大公司便宜 2~7 成”。

LCC 廉价的理由有很多，比如除了通过网络售票而省去卖票的人工、时间费以外，还大量增加座位，同时机内食品和饮料全部收费。乘务员拿着麦克，来回地在机内卖东西。顺便说一句，春秋航空公司的机内食物及饮料，为市场价格的两倍，机内甚至出售上海世博的土特产及电器制品。为了确保更多的座位，据说春秋航空公司甚至有意探讨设置 1000 多日元“连座”（乘客靠在细长的座位上，用安全带固定身体的方式）。这样倒是可以削减成本，然而安全方面却令人有点担心。

当然，准备迎击 LCC 挑战的大公司自然不会漠视这一切。全日空（ANA）与香港的公司共同成立了 LCC，准备在明年开辟国内航线。初步设定的价位是东京—大阪之间单程 5000 日元，这个价钱比深夜巴士还便宜。

毫无疑问，由 LCC 发起的价格革命如果继续进行下去的话，空中旅行将会变得离我们更近。（H）

れる。

LCC の安さの理由はいろいろある。チケットのネット販売など手間の削減の他、座席数を大幅に増やしている。機内食や飲み物などはすべて有料だ。客室乗務員がマイクを持ってセールスに努める。ちなみに春秋航空では、機内食や飲み物は市価の 2 倍で、上海万博の土産品や電気製品も売る。より多くの座席を確保するねらいで、1000 円代の“立ち乗り席（縦長の座席にもたれかかりベルトで体を固定する仕組み）”を検討する動きもあるそうだが、コスト削減の一方で、安全面の確保が気になるところだ。

LCC を迎え撃つ側の大手航空会社も黙って見ているわけではない。全日空（ANA）は香港の会社と共同で LCC を設立し、来年国内線の就航をめざすという。計画では東京—大阪間が片道 5000 円で、夜間バスよりも安い。

LCC による価格革命が進めば、空の旅がぐんと身近になるに違いない。（H）